

会記

令和元(2019)年八月三日(土) 叡智庵

第十四回 茶事「杓底一残水」 正午茶事

御客 ○○○○様

◇◇◇◇様

△△△△様

扁額 叡智庵 秀昭書

受付

席入 十一時〇〇分

蹲拵 手水鉢(織部)冷水・竹筏・つくばい柄杓

小堀遠州水琴窟 信樂焼 重蔵窯

<http://www.eonet.ne.jp/~jyuuzougama/index.html>

寄付(見立)

煎茶席

設え

床 軸 山水画 刺繍

花 向日葵、菊二種

りんどう

紫式部

花入 魚籠

座右荘

玉露手前

一煎 甘露滴滴

二煎 茶味一碗



茶 玉露「富貴」 京都寺町 蓬萊道茶舗

<http://www.kyoto-teramachi.or.jp/horaido/>

干菓子 京菓子 松葉 鶴 七條甘春堂

<http://www.7jyo-kansyundo.co.jp/>

白湯 名水「東京水」「クリンスイ」仕立

<http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/tokyo-sui/index.html>

十二時 懐石席（立礼 二月堂、スツール）

前半

懐石膳 華

懐石厨房 旬菜 雪月花

<https://delivery.nakuten.co.jp/stone/86148/item/303749/?menuId=56961>

向付 本鮪・真鯛

汁椀 吸物 練り物 三つ景

飯椀 季節の炊き込みご飯

一献目 冷酒 清酒 久保田



煮物 旬菜炊き合せ

焼物 からす鰯祐庵焼き

玉子焼き、胡麻豆腐、有頭海老、魚貝マリネ

子持ちこんぶ、うなぎ、香物、果物

飲 物 二献

飯替え・汁替えは略

後半

八寸 山玉露茶葉ポン酢漬し

海鰯南蛮漬け

千鳥 一献 冷酒 清酒、ビール、オレンジーナ



湯斗(浄水(じょうすい)、水注)、

行鉢(ぎょうはつ) (知足・餓鬼への分け前)

<http://www.aseto-kante.net/>

香の物 いぶりがっこ

主菓子 上生菓子 水牡丹 四代目倉田屋

https://www.wagashi.on.jp/tekyo_link/shop/1822.htm

菓子器 銘々皿、懐紙、黒文字

中立

十四時

茶の湯席

設え

釜 万代屋釜 利休好写風炉用 釜師 佐藤浄清作

風炉 面取風炉 唐銅 尺1唐銅師 麻生雄芳作

敷瓦 総織部

棚 更好棚

風炉光 アジロ 表：瓢柄 桑縁透かし 杵高：1.00尺

水指 室元不明

柄杓 風炉用 奈良高山 竹茗堂 久保左文

<http://www.chasen.jp/index.html>

建水 織部(室元不明)

蓋置 硝子 プラチナ金彩 新倉晴比古作

初炭(電気炉に付、香のみ)

香 老山 白檀 松栄堂

香合 アタ細工 バリ

<https://tokaata.com/hpgen/HPB/entries/2.html>

前半 茶の湯 濃茶席 一脱煉り



茶 濃茶「初瀬の昔」 新宿青松園

茶入 上杉瓢箪写し

来歴 足利義政―村田珠光―武野紹鷗―大内義隆―

大友宗麟―豊臣秀吉―上杉景勝―上杉定勝―將軍

家―前田利常―前田綱紀―將軍家―紀州徳川家―

野村美術館所蔵

仕覆 東山金襴

<https://meitou.info/index.php/%E4%B8%8A%E6%9D%89%E7%93%A2%E7%AE%AA>

茶杓 銘『知足』

茶碗 黒樂 工房真樂 鬼窪真史作 長野県岡谷市

茶碗 備前焼

茶碗 赤樂 早舟 利休七種茶碗 長次郎写し 佐々木昭樂作

茶筌 八十本 奈良高山 竹茗堂 久保友文

<http://www.chasen.jp/index.html>

後炭 (電気炭に付き略)

後半 茶の湯 薄茶席

干菓子 甘栗、京菓子 亀 七條甘春堂

<http://www.7jyo-kansyundo.co.jp/>

菓子器 黒真塗 四方盒

茶 薄茶「西園の白」 新宿青松園

<http://www.edakya-halc.jp/cm/sher/shoP017>

薄器 硝子薄器 林檎

茶碗 井戸茶碗 大雪室

<https://taisetsugama.com/>

茶碗 平茶碗 流水に芦 伊藤魁雲作 (平安魁雲)

茶碗 平茶碗 硝子金箔押し



茶筥 百本 奈良高山 竹茗 (ちくめい) 堂 久保左文

<http://www.chasen.jp/index.html>

十六時 退出

席主 叡智庵主 證道來果 (湯澤秀昭)



以上



杓底一残水 (しゃくていのいちざんすい)
汲流千億人 (ながれをくむせんおくにん)

<http://www.soto-kanto.net/>

茶事『杓底一残水』
主催 叡智得留俱樂部

http://www.eycg.co.jp/hlclub/hlc_summary.html





茶事「杓底一残水」の目的

- 一、茶事を通し「杓底一残水（しゃくていいちざんすい）」、「より多くの方が幸せ」「汲流千億人（ながれをくむせんおくにん）」になり、自己も幸せを感じることに、
- 二、誰でもが一人でも気軽に流派、形式にこだわらず、和の総合伝統文化「茶道（ちやどう）」を催す
- 三、「茶道（ちやどう）」を身に付け、グローバル社会で和の文化を語り、所作が出来る

知足

多くのジャーナリストが命を掛け、世界から情報を発信している。そして、命を落としている。その情報を私たちはどのように受け止め、そして・・・？

名水「東京水」

日本では水道の蛇口を開けば、清潔な美味しい水が簡単に飲める。しかし、世界では飲み水が無い、入手できても清潔でない、未だに水汲みをせざるをえない地域が多くある。我々は如何に幸せなことではなにか？

食物

日本では近隣のお店で、多種多様な食物を簡単に入手できる。世界では未だに、食物が足りず、今、命を落としている人が多く居る。

反面、肥満で生活習慣病になる人、食べ残し、賞味期限切れで多くの食物が廃棄される現実がある。これは何なのか？

杓底一残水

今日、食べ、楽しめた人が、「一残水」を川の流れに戻す

汲流千億人

戻した流れを今、世界の飢えている人々に確実に流し、生活環境を作る

茶事「杓底一残水」

この流れを確実にする仕組み作りをし、底上げを確実にする活動